



早いですね… もう7月です！

これに比例するかのように、子供達の成長ぶりも早いです（笑）新しい学年、クラス、友達にも慣れて自分をその環境で発揮してくれるようになりました！2学期以降の園生活に期待が膨らみます（*^^*）



つぼみぐみの子供達は、毎朝、登園すると、そのまま園庭での遊びに入ります。園庭遊具「SANGO&KINOMI」には緑色のカラー帽子が群がり、「L」トンネルの中をのそくと、狭い空間で数人の子が何やら楽しそうに（笑）大きな樽を転がす子がいれば、ストライダーを上手に乗りこなす子…ヨチヨチしていた子供達がしっかりと力強い足取りで園庭を遊び回る姿が見られるようになりました！カメラを向けると、以前までは無表情だった子供達が「ニコリ」と笑顔も見せてくれるようになりましたね（笑）

△▽△褒めるより「励まし！」

叱るより「諭そう！」△▽△

白ゆり幼稚園の教師達は、子供を「その気」にさせる『プロ集団』です！教師達が特に意識していることが「褒めることも大切ですが、励ます、ことを大切に！」そして、「叱る、より諭す、」です。

褒めるときは、たいがい良い結果が出たときで、励ますのは、たとえ良い結果でなくても、その中の可能性を見つけ出して、希望を見せてあげることです。「○○君なら絶対できる！」という一言で、自信も湧くし、希望も持てるし…園生活の至る所で、教師達のこんな言葉が飛び交っています（笑）



お友達に乱暴なことをしてしまったり、約束を守れなかったり…そんなときは、つつい厳しく叱ってしまいますね。もちろん叱ることは、子供の成長にある程度必要なことですが、叱って、反省させるだけでは不十分です。理由を丁寧に聞いてあげて、その原因解決に努め、「自分がされたら…？」「約束が守れなかったらどうなるか…？」ということを考えさせ、その子の意思を育てるように、その子の自立に結び付けてあげるのが良い結果になります。

「励ます！」と「諭す！」は、判断力を身に付ける力にもなるし、「ものの見方」「考え方」「感じ方」を育てることにとなり、自立に向けての大きな力、要素にもなるのです。



「困った！」という体験が…

朝、登園バスの到着時刻が迫り、そろそろバス停に向かわなければという時間になっても、まだパジャマのままで、顔も洗っていない…そんなのんびりしている我が子についてイライラして「あれこれと手を貸し、何とかバスの時刻に間に合った！」なんてことは、日常茶飯事ではないでしょうか（笑）つぼみぐみや年少児ならまだしも、年中・長児にもなれば、通常の登園日であれば、登園前の身支度はもちろん、持ち物の準備も自分で出来て当たり前です。でも、「まったくもう…」と言いながら、あれもこれも手を貸してしまう…(>_<)

日常生活の中で、こんなことを毎日繰り返しては、お子さんはいつまで経っても自立できませんね（涙）現代の若者がちよとしたことで、心が「ボキッ」と折れて挫折してしまうのは、自分が「困る！」という経験を積んでいないことに原因があるとされています。

通園バスの時刻に間に合わないのは困るので、急いで準備をして頂かなければなりません（笑）その他のことで、我が子が「幼稚園や学校で困らないように…」と、あれこれと先回りしてあげたい気持ちは良くわかりますが、本人に任せることも必要で、嫌な思いをしたくなければ、次に自分で気を付けるようになるものです。

「困る！」という体験は、お子さんが自立していくのに必要な体験です。人間は、困ったり、嫌な思いを体験しなければ、身に染みませぬ…（笑）

我が子が困らないようにと、あれこれ先回りしていると、本当に困った体験をしたときに、子供は「ニックを起こし…」それが原因で登校拒否や不登校、引き籠りとなってしまうケースは少なくありません(>_<)

幼いうちから「困る！」という体験をある程度は経験させましょう！それが「免疫」になり、子供は子供なりに、数々の失敗から多くのことを学び『どうしたら失敗しないか！？』を自分なりに考えます。

そうやって子供は、親から自立していくのです（笑）

♥嬉しいプレゼント♥

年少児達が園長に「似顔絵」をプレゼントしてくれました（笑）年少児達の視線は園長に…まじまじと顔を観察して「髪の毛はちょっとしかないね！」「髪は白いね！」「目は二つあるね！」と、思い思いに感想を述べながら「似顔絵」を描いてくれました。年少クラスの廊下でユラユラと風に揺られて展示されていますので、ご来園の際にご覧下さい（笑）